



イオン北海道からみなさまへ

いのちあふれる森を未来へ

南富良野町植樹

-2022年5月21日(土)実施-



Fine Report Vol.076 July.1.2022



イオン環境財団

2022年
6月実施

植樹30万本プロジェクト

(公財)イオン環境財団が設立30周年を記念し、みどりを増やす活動にご賛同いただいたお客さまに贈呈しました。
(一部のイオン・イオンスーパーセンターでは、イオン チアーズクラブのメンバーと一緒に配布を行いました。)



イオン北海道は植樹活動を行っています

イオン北海道は2000年より、新しい店舗がオープンする際に、敷地内にお客さまとともに木を植える「イオン ふるさとの森づくり」を行っています。これは「店舗が地域に根ざし、地域のコミュニティの場となること、さらには緑を育む心が世界に広がるように」との願いをこめたものです。

また、公益財団法人イオン環境財団では、自然災害や伐採などで失った森林の再生、地球温暖化防止の向上などを目指した植樹活動を国内外で実施しています。

北海道ではこれまでに知床、支笏湖、むかわ町、厚真町で植樹を行っており、2019年からは2016年の台風上陸で甚大な浸水被害が発生した南富良野町にて植樹を実施しています。

今年は約200名の当社従業員や地域ボランティアの皆さまとともに2,000本を植樹し、南富良野町での累計植樹本数は7,000本となりました。なお、道内累計植樹本数は2022年5月末現在で396,028本にのびります。



SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標12、13、14、15、17の達成に貢献します。